

# 総務常任委員会

3月9日・10日・11日の3日間、陳情2件と所管の事務調査を行いました。

## 自主防災組織を増やす

総務課

地

震や豪雨などの大規模災害が発生した場合に、地域の住民、みずからが、生命や財産の安全を確保し、被害の軽減を図るための自主防災活動が非常に重要となってきた。現在、自主防災組織は80団体あるが、さらに10団体増を目標に予算計上した。  
また、防災無線による災害時の情報や行政伝達は、今後デジタル化を含めて検討していきたい。

## ふるさと納税のPR

ふ

ふるさと納税は、居住地にかかわらず、自分が応援したいと思う「ふるさと」へ寄付することができ、ふるさとの特産品を納税者へ送付し、内容を充実させてきている。納税の現状は年間250〜260万円、今後、企業へのPRにも努めていきたい。

## 境界確認に苦勞

地籍調査課

地

籍調査事業の進捗よく率は約52%で、山間部の調査が依然多く残されている。  
地権者の高齢化により山林の境界確認が困難になっているため、事業の早期完了に努力を求めた。

## 新しい遊具

大山支所総合窓口課

仁

王堂公園に設置してある木製の遊具が15年経過し経年劣化した遊具を利用者の安全確保のためリニューアルする。  
ユーアルする。  
工期が夏休みにかからないこと、再利用できるものは利用することを求めた。

## 受け入れ

集落に謝礼

企画情報課

町

内における空き家の有効利用を通して、移住・定住促進による地域の活性化推進のため、受け入れ集落に20万円の謝礼を予定している。

満

## 巡回バスのデマンド化

足度の高い効率的な運行をするため、巡回バス事業で電気自動車を購入し、デマンド方式に移行する予定。規制緩和をめざして県の総合特区に加わる。

集

## 集落の活性化を支援

落の健康診断を行った42集落のうち、3集落で課題解決に必要な活性化事業を実施した。地区のまちづくり推進員会議と合わせて、今後も支援していく。

↑ デマンド方式

時刻や路線を決めず、利用者の要求に応じた運行方式。